

障害児教育の教員が 自宅で始めたおもちゃ図書館

愛知県名古屋市

名古屋中村おもちゃ図書館

国際児童年（1979 年）に「豊かな遊びを広げるおもちゃ展」を愛知県で開催した ことを契機に

愛知県コロニーの同僚がロンドンでの第一回国際会議に参加して、日本でもおもちゃを使った図書館活動をやろうということになりました。国際児童年を記念する行事で「豊かな遊びを広げるおもちゃ展」を 1 か月間実施し、その後国際障害者年を経て、障害児の遊びの貧困さを痛感し、名古屋の自宅で 1984 年に開館しました。全国連絡会初代代表の小林るつ子さんが息子の名前から「としちゃんライブラリー」と命名してくださいました。学校勤務のため日曜日に自宅を開放する形で始めました。新聞、ラジオ、テレビで紹介され、三重や岐阜からも利用者が来館。保健師さんも障害児の親子と参加されました。

学校が週 5 日制になり、市の教育委員会からの要請で第二土曜日に社会教育センター（現・生涯学習センター）で活動場所を移すことになり、名称も「名古屋中村おもちゃ図書館」と変更し現在に至っています。

子どもの発達、療育相談も実施しているおもちゃ図書館

ボランティアに元保育士がいたり、代表が障害児学校の教員ということもあり、子育ての中で発達上の相談、運動療育、言語発達に関する相談が多くありました。子育てを経験してきた主婦ボランティアの知恵とアドバイスは若いお母さんたちの良き情報交換の場にもなっています。

子どもの発達段階にあったおもちゃの紹介は、子育てに不安を感じているお母さんたちに安心感を与えることにもなったようです。

いろいろな方々の力を借りて運営

名古屋には主婦の方々と手作りの布の遊具作りを 50 年以上前からされている「たねの会」というグループがあります。幼児の等身大人形の「たーくん」「ねねちゃん」、2 メートル四方もある、マジックテープやボタン、ホックで魚を止める「海」、ベルクロ生地できている「キャッチボール」、おいしそうな「ロールケーキセット」などを寄贈して下さってました。

名古屋の青年会議所の方々と、中部リサイクル運動市民の会の協力で久屋大通り公園で「おもちゃのリサイクル活動」を展開したこともありました。

区の社会福祉協議会で、ボランティア研修を受けたボランティアさんたちが、布や紙の遊具を作成してくださったり、修理の得意な男性ボランティアが「おもちゃ病院」活動を担ってきてくれました。おもちゃの返却も、開館日に来れない利用者のために生涯学習センターの職員が返却を受け付けてくれています。現在は、私の息子が友人と立ち上げた NPO 法人「ひだまりの丘」のママさんスタッフが 2 名ずつ活動を担ってくれるようになり助かっています。

名古屋市や、愛知県のおもちゃ図書館連絡会や区市、県の社会福祉協議会の関係者との情報交換や協力もありがたいことです。

外国籍の利用者も、両親そろっての来館も増えています

インターネットで調べて来館したという外国にルーツのある方々や、中村区以外のおもちゃ図書館

が無いという区や市外からの来館者も増えてきました。おもちゃの貸し出し点数は制限が無いので、大きな遊具などは車で来館されて借りていけます。口コミで利用が始まった方、市の広報紙を見て来館される方もいます。毎月 30 家族前後の来館者があるので少ないスタッフでの対応が大変なのと、イベント企画やじっくりとおもちゃ遊びの紹介ができないのが残念な状況です。

常設でないことの克服（課題 1）

自宅で開館していた時には、おもちゃの移動は関係なく片付けるだけでしたが、生涯学習センターの研修室は専用の部屋ではなく、毎回プラスチックの収納箱に入れたおもちゃをキャスターで、倉庫代わりに使わせてもらっている小部屋と研修室を何往復もしなくてはなりません。建物の外の倉庫でなくなり建物内の廊下を隔てた部屋なので以前より楽にはなっています。いつか、専用の部屋を確保できたらと願っています。

活動資金をどうするか（課題 2）

おもちゃの購入費等の助成金は、定期的に行政からは全くありません。社会福祉協議会の共同募金からの助成額も減少してきています。しかし、私たち

のおもちゃ図書館活動を理解して援助して下さるおもちゃ図書館財団を始め、おもちゃ企業等からの寄贈は大変ありがたいと思っています。いろいろな財団の助成にも応募して、おもちゃ図書館の存在を広く知ってもらう努力もしていかなければならないと考えています。

ボランティアさんの確保（課題 3）

開館当初のころのボランティアさんは高齢化でやめられています。関連のある NPO 法人のママさんスタッフが毎回 2 名ずつ来てくださるのは大変ありがたいと思います。社会福祉協議会からの紹介でボランティアさんも来てくださるようになりました。開館日以外のおもちゃの返却の受付を学習センターの職員さんが担ってくださるのもありがたいことです。



● 代表より一言

おもちゃ図書館活動をライフ活動として継続してこられたのも多くの方々の理解と協力があったことだと痛感しています。インターネットの普及で、海外の人々との交流も活発にでき、国際会議に何度も参加することができ、数多くの情報を学ぶことができてきました。おもちゃ図書館活動を通しての何よりの喜びは、「このおもちゃ、とってもおもしろかったよ」と返却時に笑顔で話してくれる子どもの顔を見ることです。長年活動してきて、子どもたちの成長発達の姿を見ることは何よりもうれしいことです。（高村豊）

場所 愛知県名古屋市中村区鳥居通 3-1-3 名古屋市中村生涯学習センター

日時 第 2 土曜日 10:00 ～ 14:00

対象 どなたでも



ウェブサイト